



# 県内版

おたしましやくし

〈謎〉  
祖母 そんな格好で寝てる  
と雷様におへそ取られるよ  
孫 どうして雷様はおへそ  
がほしいの？  
ほんま・しよう(4歳) 〓

南区、祖母・大前貴美子  
〈二もつとも〉  
(定期調査の順位が下がり  
ました)  
母 何してたの！  
子 何もしてらん！

くの・の  
多市、母・  
〈最終  
ママ  
妹 ママ  
母 あと  
妹 ね、

## 全国土地活用モデル大賞

# 愛岐トンネル群再生委三席

審査委員長賞

地域活性化の成功例を対象とした全国コンテスト「土地活用モデル大賞」で、春日井市のNPO法人「愛岐トンネル群保存再生委員会」の旧国鉄中央線跡整備が、三席の審査委員長賞に選ばれた。年間予算が四百万円足らずの地道な作業が、一十億円の単位の大規模事業に交じって脚光を浴びた。トンネル群の全国的な知名度アップにもつながりそうだ。

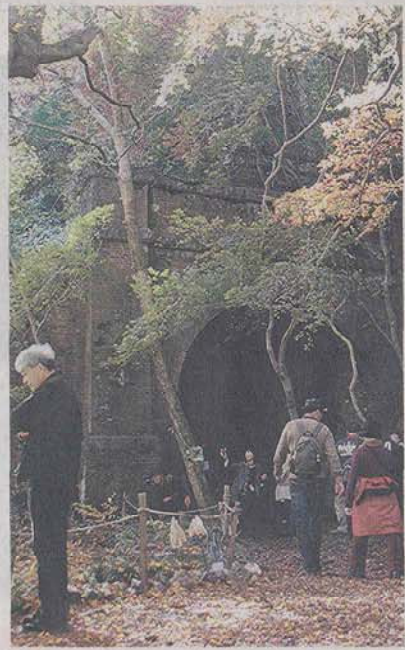
(谷知佳)

## 旧国鉄跡整備 地道な作業結実

国土交通省の外郭団体の「財団法人都市みらい推進機構」が〇四年から選定しており、今年度は全国十二の自治体、開発業者などが応募した。大学教授らによる書類審査や現場視

察の結果、最高位の国交省(大阪府)もあつただけに、会費やトヨタ財団の助成金など年三百万円で運営される再生委員会の存在は異色だった。一九六六年の廃線後、春日井市玉野町の愛岐トンネル群で、回一万人規模の人数を集め、〇九年には経済

産業省の近代化産業遺産にも選ばれた。山本勝利理事長(七〇)は「企業でも官公庁でもない一般市民の取り組みが、全国的に認知されうれしい」と喜ぶ。機構の担当者も「手付かずの自然を相手に、知恵を絞って資金を捻出し、作業もすべて市民が担っている点が高い評価を受けた」と話した。



①地域活性化事業のコンテスト入賞に「全国的に認知されてうれしい」と話す山本理事長。春日井市鳥居松町の中日新聞春日井支局で、②昨秋の公開の様子。大勢の人でにぎわった。春日井市玉野町の愛岐トンネル群で

今秋の愛岐トンネル群の一般公開は二十三日(二十七日、いずれも午前九時半～午後三時)。見学料は一人百円(保険料含む)。紅葉も見ごろだ。駐車場はなく、JR中央線を使って定光寺駅下車、北へ徒歩三分。◎村上真善事務局長 〓電090(4860) 4664